



下京のひびき

市民しんぶん下京区版

12・15

推計人口 79,796 人
世帯数 44,290 世帯
(平成23年11月1日現在)

「まずやること」ただいま進行中

下京歩歩(ぽっぽ)塾

ウォーキングを通じて、健康増進、生きがいづくり、生活習慣病の予防、地域コミュニティの活性化、防災意識の向上など多様な住民課題の解決に取り組む塾として本年5月にスタート。IT歩数計をつけて、毎月データを集計し、個々の塾生にはニュースレターで健康情報などを提供しています。

現在、187名の方が塾生として参加されており、塾生の1日の平均歩数は9000歩以上と塾生の皆さんの歩くことへの意識の高さを知ることができます。

来年1月には、来年度の塾生を、市民しんぶん区民版などで募集しますので、ふるってご参加ください。



「ふれ愛ひろば」での測定会の様子



「まずやること」とは、本年4月にスタートした「下京区基本計画」の中の、最優先に行っていくプロジェクトのことです。この間、多くの区民の皆様にご参画いただきました。改めて、着実に進行してきました。

これまでの動きを振り返ってみます。来年の干支は「辰」。昇り竜のごとく更なる下京区の飛躍を目指して、来年も区民の皆様と一緒に計画を進めていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



ルールや手順などが議論された会議の様子(稚松学区)

いざという時のための安心安全の情報共有の推進

ひとり暮らしの高齢者や障害をお持ちの方など、大災害発生時にいち早く支援が必要な方々の情報を地域で事前に把握し、いざというときに迅速で円滑な助け合いができる地域づくりを目指します。

本年度は、稚松学区をモデル学区として自治連合会が中心となって、情報の把握や管理方法などのルールづくりを行い、各戸へ支援カードを配布し、回収を行いました。今後、集めた支援カードをもとに台帳やマップの作成を行うとともに、日頃からの支援体制を整えていきます。

安全で環境にやさしい夜間門灯点灯運動

今年、格致学区をモデル学区としてスタートした「夜間門灯点灯運動」は、住民の方々の主体的取組を中心に、今夏には市内の大学実習活動とも連携し、新たな視点も取り入れるなど、工夫を凝らした様々な活動が展開されています。

- ・今夏の住民アンケートや調査をもとにした、地域の安心安全マップづくりの実施
- ・毎月10日を「点灯(てんとう)の日」とし、啓発チラシ・ポスターの作成を通して、地域住民への意識向上を図る啓発活動の実施
- ・安心安全マップをもとにした門灯点灯状況の調査と夜間パトロールの実施
- ・環境にやさしいLED電球に関する学習会の実施(予定)

これらの取組を通して、今後、地域ぐるみで門灯点灯運動を盛り上げ、通りを明るくし、犯罪のない安心安全のまちづくりを目指します。



地域での防犯パトロールの様子(格致学区)

こちらも進行中!

下京・町衆倶楽部

下京を愛する多くの方が自由な発想の下で議論・実践するまちづくり組織として9月に誕生。10代から80代までの幅広い方々がそれぞれの「思い」をもって倶楽部に集まり、交流を深めています。次回は1月中旬に交流会を開催する予定です。(現在も会員募集中です)

詳しくはお問い合わせください。

☎ 総務課 (☎ 371-7164)